

て、カラスの夫婦と戦っていました。カラスも生活をかけて戦って居り、なかなかの見物でした。

小林 繁男君 今日孫が小学校の入学式でした。マゴマゴしないように頑張りたいと思います。

中條 耕二君 本間さんの卓話に会えて良かったです。若さあふれるお話を期待しております。横田さんご入会ありがとうございます。

小林 幹扶君 本間さん卓話御苦労様です。横田さん入会歓迎します。

今 村 泉君 本間会員の卓話に期待して、

阿部 勝子君 本間さん今日の卓話宜しくお願い致します。横田さんお待ちしております。本当に嬉しいです。

堀川 正幸君 良い天気と本間さんの卓話に期待して、

大野 新吉君 新入会員横田さん入会大歓迎します。又々北RCに花がパッと咲き春の陽気にふさわしくなりました。本日の本間さんの卓話、ご苦労様です。

佐藤 弘志君 本間さん卓話御苦労様です。最近政界では「日銭かせぎの総理大臣」と評判の小泉さん、「女性達の間では純ちゃんと叫んだ私がバカ」だったと言っているそうです。横田さん入会お待ちしております。

米山 忠俊君 本間さん卓話ありがとうございます。ゴルフも教えてください。

本間 重満君 横田加代子さんご入会おめでとうございます。

梨木 建夫君 横田加代子さんの御入会心から歓迎申し上げます。交友の広さから、是非、入会をしていただく女性会員を多ぜい紹介して下さい。又、本間重満会員の卓話を楽しみにしております。

石川 友意君 ☆横田さんの入会を歓迎して。☆本間さん卓話ありがとうございます。

山崎 勲君

米山奨学会：

山 本 賢 君 横田加代子さんの入会を歓迎致します。

西 山 齊 君 ”

小林 繁男君 ”

ロータリー財団：

山 本 賢 君 横田加代子さんの入会を歓迎致します。

西 山 齊 君 ”

小林 繁男君 ”

渕 岡 茂 君 長男高校入学に付き。

岡 田 健 君 横田さん歓迎します。

* 3月のコメント賞は高橋彰雄会員です。

新入会員入会式：

新入会員 プロフィール：

氏 名 横田 加代子

生年月日 昭和22年1月2日

会 社 名 松眼鏡店

役 職 名 店主

会社住所 三条市興野2-13-26

TEL 33-0442

FAX 33-5429

Eメール kayoko@winpal.net

自宅住所 三条市東大崎1丁目18-19-9

TEL 38-1312

家族構成 圭一（長男） 留美（長男の妻） 裕一（孫） 千夏子（孫） 美緒（孫）



卓 話： 本間重満会員



皆さんこんにちは。私にとっては地獄のような時間がとうとうやってまいりました。人前で話すとか唄うとかは苦手ではないと思っていましたが、やはり皆様の前ですと緊張致します。がんばりたいと思いますのでよろしくお願い致します。先ず楽な姿勢で目を閉じてください。ここに1冊の本を持って参りました。読ませて頂きます。

大きな木 むかしりんごの木があって・・・かわいいちびっこな
かよし。毎日ちびっこはやってきて木の葉をあつめ、かんむりこしらえて
もりの王様きどり。ちびっこは木の幹によじのぼり、えだにぶらさがり、りんごを食べる。木とちび
っこはかくれんぼう。遊び疲れて木陰でお昼寝。ちびっこは木がだいすき・・・だから木もう
れしかった。けれども時は流れてゆく。ちびっこはすこし大人になり木は大抵ひとりぼっち。ところ
がある日そのこがひょっこりきたので木は言った「さあぼうや私の幹にお登りよ。私の枝にぶらさが
りりんごをお食べ。木陰で遊び楽しくすごしておゆきよ、ぼうや。」するとその子は「ぼくはもうお
おきいんだよ、木登りなんておかしくて。買い物がしてみたい。だからお金がほしい。おこづかい
をくれるかい。」木は言った「困ったねえ。私にはお金はないのだよ。あるのは葉っぱとりんごだ
け。それじゃ、ぼうや私のりんごをもぎ取って街で売ったらどうだろう。そうすればお金もできて楽
しくやれるよ。」そこでその子は木によじ登りりんごをもぎとりみんな持って行ってしまった。木は
それでうれしかった。

だがそれからその子は長い間来なかった・・・木はかなしかった。ところがある日その子がひ
ょっこり戻ってきたのでうれしさいっぱいからだをふるわせ木は言った「さあぼうや私の幹にお登り
よ、私の枝にぶらさがり、楽しくすごしておゆきよぼうや。」「木登りしている暇はない」大人にな
ったその子は言った。「あたかな家が欲しい。お嫁さんがほしい。子供がほしい。だから家がい
る。ぼくに家をくれるかい。」木が言った「私には家はないのだよ。この森がわたしの家だから。だ
けどわたしの枝を切り家を建てることはできるはず。それで楽しくやれるでしょう。」そこで男は枝
を切り払い自分の家をたてるために、みんな持って行ってしまった。木はそれでもうれしかった。だ
が男はまた長い間来なかった。そして男がひょっこりもどってくると木はうれしくて物も言えないほ
どだった。「さあぼうや」木はささやいた「さあここでお遊びよ」男は言った。歳はとるし悲しいこ
とばかりで今更遊ぶ気持ちになれないよ。船に乗ってここからはなれてどこか遠くへ行きたい。おま